

### Ⅲ 基準ごとの自己評価

#### 基準 1 高等専門学校の目的

##### (1) 観点ごとの分析

観点 1-1-①： 目的として、高等専門学校の使命，教育研究活動を実施する上での基本方針，及び、養成しようとする人材像を含めた，達成しようとしている基本的な成果等が，明確に定められているか。

(観点到係る状況)

本校の目的は「教育基本法の精神にのっとり，及び学校教育法に基づき，深く専門の学芸を教授し，職業に必要な能力を育成すること」である(資料 1-1-①-1)。

この目的の達成のために，本校では，創立以来，「自学自習」，「理魂工才」すなわち「自らよく学び自らよく思考しながら，目先のことだけにとらわれずにその基本となる原理を考えると同時に，実践を通して実際の工学のセンスも身につけよ」ということを校訓としてきた(資料 1-1-①-2)。

また，これを踏まえて，より具体的な基本教育目標が，以下のように掲げられている：

- 1) 豊かな人間性と広い視野を持ち，社会人としての倫理を身につける
- 2) あらゆる学習を通じて思考力を鍛え，創造力に富んだ技術者になる
- 3) 専門分野の基礎を良く理解し，実際の問題に応用できる能力を培う
- 4) 意思伝達及び相互理解のため，十分なコミュニケーション力を養う

この基本教育目標は，学生便覧，学校総覧及びウェブページ等に明示されており，この目標に向けた教育が実践されている(資料 1-1-①-3～5)。また，基本教育目標に基づいて養成する技術者像，すなわち「多様な価値観と広い視野を持ち，人間性と創造性に富み，基礎工学及び専門知識・技術を有機的に統合したものづくりやシステムづくりに強い実践的技術者」を養成するために，準学士課程及び専攻科課程に共通な 7つの「学習・教育目標」を設定し，具体的な達成目標をシラバスに明示している(資料 1-1-①-6～9)。

#### 観点 1-1-① 資料一覧

資料 1-1-①-1	本校の目的	(出典：平成 19 年度 学生便覧，p. 7)
資料 1-1-①-2	校訓	(出典：平成 19 年度 学生便覧，p. 1)
資料 1-1-①-3	基本教育目標	(出典：平成 19 年度 学生便覧，p. 1)
資料 1-1-①-4	基本教育目標	(出典：平成 19 年度 学校総覧，p. 2)
資料 1-1-①-5	基本教育目標	(出典：ウェブページ)
資料 1-1-①-6	養成する人材像	(出典：平成 19 年度 学生便覧，p. 1)
資料 1-1-①-7	学習・教育目標	(出典：平成 19 年度 学生便覧，p. 1)
資料 1-1-①-8	学習・教育目標と具体的な到達目標・準学士課程	(出典：平成 19 年度 シラバス，p. 3)
資料 1-1-①-9	学習・教育目標と具体的な到達目標・専攻科課程	(出典：平成 19 年度 シラバス，p. 4)

資料 1 - 1 - ① - 1

## 鶴岡工業高等専門学校学則

施 行 昭和38年 4 月 1 日

最終改正 平成19年 4 月 4 日

### 第 1 章 本校の目的

(目的)

**第 1 条** 本校は、教育基本法の本質にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

(出典：平成 19 年度 学生便覧, p. 7)

資料 1 - 1 - ① - 2

校 訓

自 学 自 習  
理 魂 工 才

(出典：平成 19 年度 学生便覧, p. 1)

資料 1 - 1 - ① - 3

### 基本教育目標

1. 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける
2. あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造性に富んだ技術者になる
3. 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培う
4. 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う

(出典：平成 19 年度 学生便覧, p. 1)

資料 1-1-①-4

### 基本教育目標

1. 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける
2. あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造力に富んだ技術者になる
3. 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培う
4. 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う

(出典：平成 19 年度 学校総覧, p. 2)

資料 1-1-①-5



### ■ 基本教育目標

#### 基本教育目標

1. 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける
2. あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造力に富んだ技術者になる
3. 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培う
4. 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う

(出典：ウェブページ)

資料 1-1-①-6

#### 養成する人材像

多様な価値観と広い視野を持ち、人間性と創造性に富み、基礎工学及び専門知識・技術を有機的に統合したものづくりやシステムづくりに強い技術者の養成をめざす。

(出典：平成 19 年度 学生便覧, p. 1)

資料 1 - 1 - ① - 7

## 学習・教育目標

- (A) 知識を統合し多面的に問題を解決する構想力を身につける。
- (B) 地球的視野と技術者倫理を身につける。
- (C) 数学、自然科学の基礎学力と実験・実習による実践力を身につける。
- (D) 工学の基礎学力と情報技術を身につける。
- (E) 一つの得意専門分野をもち、生産技術に関する幅広い対応能力を身につける。
- (F) 論理的表現力と英語力を身につける。
- (G) 計画的、継続的、客観的な問題解決能力を身につける。

(出典：平成 19 年度 学生便覧, p. 1)

資料 1 - 1 - ① - 8

## ◎学習・教育目標と具体的な到達目標 準学士課程（5年制の本科課程）

- (A) 知識を統合し多面的に問題を解決する構想力を身につける。
  - A-1 工学の基礎となる理論を理解し、実践を通して工学のセンスを身につける。（校訓「理魂工才」）
  - A-2 自ら学び自ら思考しながら、幅広い分野の知識を身につける。（校訓「自学自習」）
- (B) 地球的視野と技術者倫理を身につける。
  - B-1 日本と世界との関わりあいについて関心をもち、広い視野でものごとを考えることができる。
  - B-2 技術と人間社会や地球環境の関係について理解し、技術者が持つべき倫理観の必要性を認識する。
- (C) 数学、自然科学の基礎学力と実験・実習による実践力を身につける。
  - C-1 工学の基礎となる、数学や自然科学の基礎知識を身につける。
  - C-2 基礎的な実験や実習を通してその技術を実際的に身につける。
- (D) 工学の基礎学力と情報技術を身につける。
  - D-1 どの分野にも必要な共通の基盤技術である基礎工学を身につける。
  - D-2 コンピュータをはじめとするさまざまな情報機器を利用する技術を身につける。
- (E) 一つの得意専門分野をもち、生産技術に関する幅広い対応能力を身につける。
  - E-1 得意とする専門分野の知識、技術を身につける。
  - E-2 得意とする専門分野と人間社会との関連について理解できる。
- (F) 論理的表現力と英語力を身につける。
  - F-1 日本語の文章の内容を正確に理解し、自分の考えを的確に伝えることができる。
  - F-2 日常的に使用される英語文の内容を理解し、自分の考えを英語で伝えることができる。
- (G) 計画的、継続的、客観的な問題解決能力を身につける。
  - G-1 解決すべき問題を、客観的にとらえて、計画的、継続的に学習することができる。

(出典：平成 19 年度 シラバス, p. 3)

## ◎学習・教育目標と具体的な到達目標 専攻科課程

## (A) 知識を統合し多面的に問題を解決する構想力を身につける。

A-1 理論的な基礎の上に実践力を磨き、創造力や応用力を発揮できる。(校訓「理魂工才」)

A-2 継続的に広く学び、自主的に問題解決を図ることができる。(校訓「自学自習」)

## (B) 地球的視野と技術者倫理を身につける。

B-1 広い教養と視野をもち、地球環境や国際間の異なる文化や歴史的背景を理解できる。

B-2 技術が人間社会や環境に及ぼす影響や効果を理解し、技術者が社会や企業において果たすべき責任を自覚できる。

## (C) 数学、自然科学の基礎学力と実験・実習による実践力を身につける。

C-1 数学や自然科学の知識を基に実践的な問題を解析し、その結果を説明できる。

C-2 実験・実習を通じて現象を経験的に学び、実験結果に対する理論との比較や考察ができる。

## (D) 工学の基礎学力と情報技術を身につける。

D-1 共通基盤技術である基礎工学および情報技術を応用して生産に関わる幅広い問題に対応できる。

D-2 どの分野にも必要な専門基礎工学を身につけ、さらに深い専門技術や将来の技術の進展に対応できる。

## (E) 一つの得意専門分野をもち、生産技術に関する幅広い対応能力を身につける。

E-1 機械系、電気・電子系、応用化学系の専門科目群から1つの得意分野の達成基準を満足できる。

E-2 得意専門分野と専門共通技術を融合して、地域産業や国際社会の多様な要求に対応できる。

## (F) 論理的表現力と英語力を身につける。

F-1 論理的に記述、発表、討論する国語力を磨き、大学生レベルのレポートや論文が書ける。

F-2 学内外の研究発表会において、論理的で説得力のある発表や質疑応答ができる。

F-3 基本的なビジネス英語力を修得し、専攻科研究論文の要旨を英語で書くことができる。

## (G) 計画的、継続的、客観的な問題解決能力を身につける。

G-1 長期的な課題に対して、実施計画を立て実行結果を逐次記録・評価して進歩の自己管理ができる。

G-2 課題に対する複数の情報データを分析、考察、評価し、結論を客観的に説明できる。

(出典：平成 19 年度 シラバス, p. 4)

## (分析結果とその根拠理由)

本校では、学校教育法第 70 条の 2 に規定された目的に従って本校の目的を定め、教育目的、教育目標、養成しようとする人材像、学習・教育目標を明確に定めている。また、これに対応した形で教育目的、学習・教育目標を掲げ、卒業時の達成目標を具体的に定めている。

以上のことから、本校は目的を明確に定めている。

**観点 1 - 1 - ②：** 目的が、学校教育法第 70 条の 2 に規定された、高等専門学校一般に求められる目的から、はずれるものでないか。

## (観点到に係る状況)

本校学則第 1 章本校の目的第 1 条において、「本校の目的は、教育基本法にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする」と、その目的を明確に定めている(資料 1 - 1 - ① - 1 参照)。

また、この目的の達成のために、創立以来「自学自習」、「理魂工才」を校訓に掲げ(資料 1 - 1

①-2参照), これを踏まえた具体的な基本教育目標を以下のように明確に定めている:

- 1) 豊かな人間性と広い視野を持ち, 社会人としての倫理を身につける
- 2) あらゆる学習を通じて思考力を鍛え, 創造力に富んだ技術者になる
- 3) 専門分野の基礎を良く理解し, 実際の問題に応用できる能力を培う
- 4) 意思伝達及び相互理解のため, 十分なコミュニケーション力を養う

この基本教育目標は, 本校の養成すべき人材像を示しており, 学生便覧等に明示されている(資料1-1-①-3参照)。このように, 本校の目的及びそれを実現するために設定した学習・教育目標は, 職業に必要な能力であり, 学校教育法第70条の2に定められた目的, すなわち「高等専門学校は, 深く専門の学芸を教授し, 職業に必要な能力を育成することを目的とする」からはずれるものではない。

(分析結果とその根拠理由)

本校の目的及びそれを実現するために設定した学習・教育目標は, 学校教育法第70条の2に規定されている高等専門学校一般に求められる目的から, はずれるものではない。

**観点1-2-①: 目的が, 学校の構成員(教職員及び学生)に周知されているか。**

(観点に係る状況)

本校では, 校訓, それに基づく目的を, 学生便覧, 学校総覧等に明記して, すべての教職員及び学生にこれを配布しており, ウェブページにも掲載している(資料1-2-①-1~2, 資料1-1-①-2参照)。基本教育目標は, シラバスやウェブページに掲載し, 各クラスルームにも掲示している(資料1-2-①-3~4, 資料1-1-①-5参照)。また, 校訓は, 体育館内にも大きく掲示して周知を図っている(資料1-2-①-5)。このように, 教職員には, 様々なかたちで目的の周知を図っており, 教職員の80%以上がよく知っているというアンケート結果が得られている(資料1-2-①-6)。

#### 観点1-2-① 資料一覧

資料1-2-①-1	校訓	(出典:平成19年度 学校総覧, p.1)
資料1-2-①-2	校訓	(出典:ウェブページ)
資料1-2-①-3	基本教育目標	(出典:平成19年度 シラバス, p.3)
資料1-2-①-4	基本教育目標の教室への掲示	(出典:クラスルーム掲示)
資料1-2-①-5	校訓の体育館への掲示	(出典:体育館掲示)
資料1-2-①-6	学校の目的等についての意識調査	(出典:平成18年度 第13回教員会議議事録)

資料 1 - 2 - ① - 1

## 1. 校 訓

### 1. College Fundamental Principles

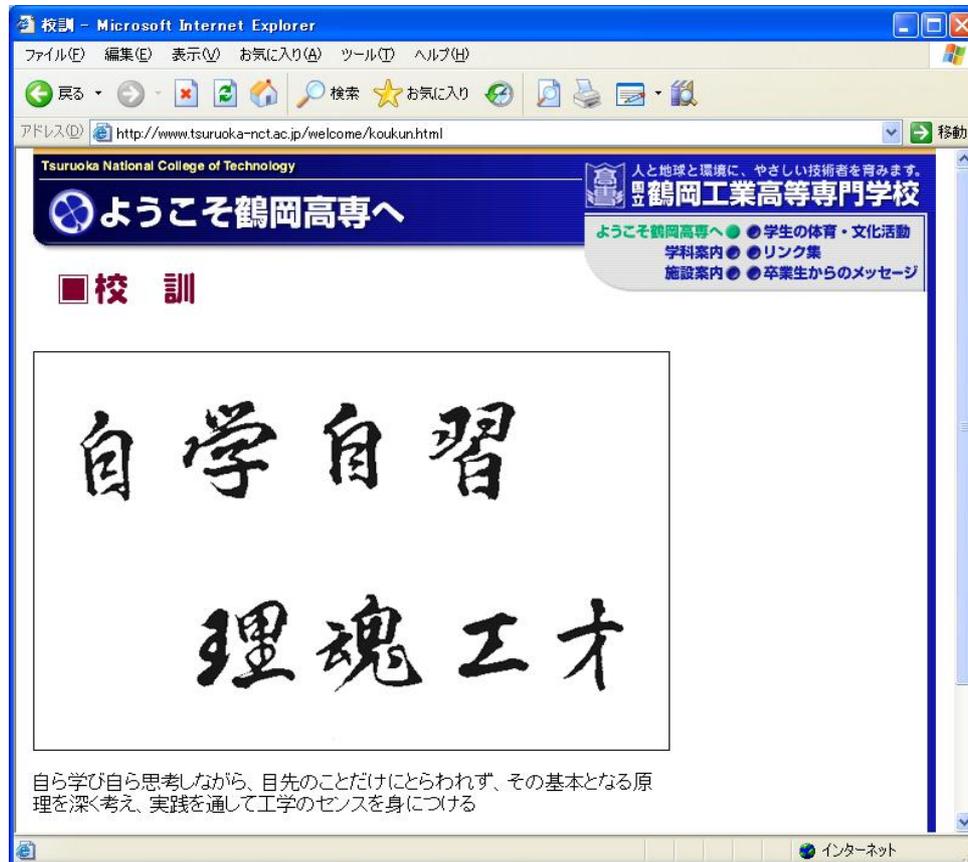
# 自学自習 理魂工才

(初代校長 林 茂 助)

(Written by Dr. M. Hayashi, the 1st president)

(出典：平成19年度 学校総覧，p. 1)

資料 1 - 2 - ① - 2



(出典：ウェブページ)

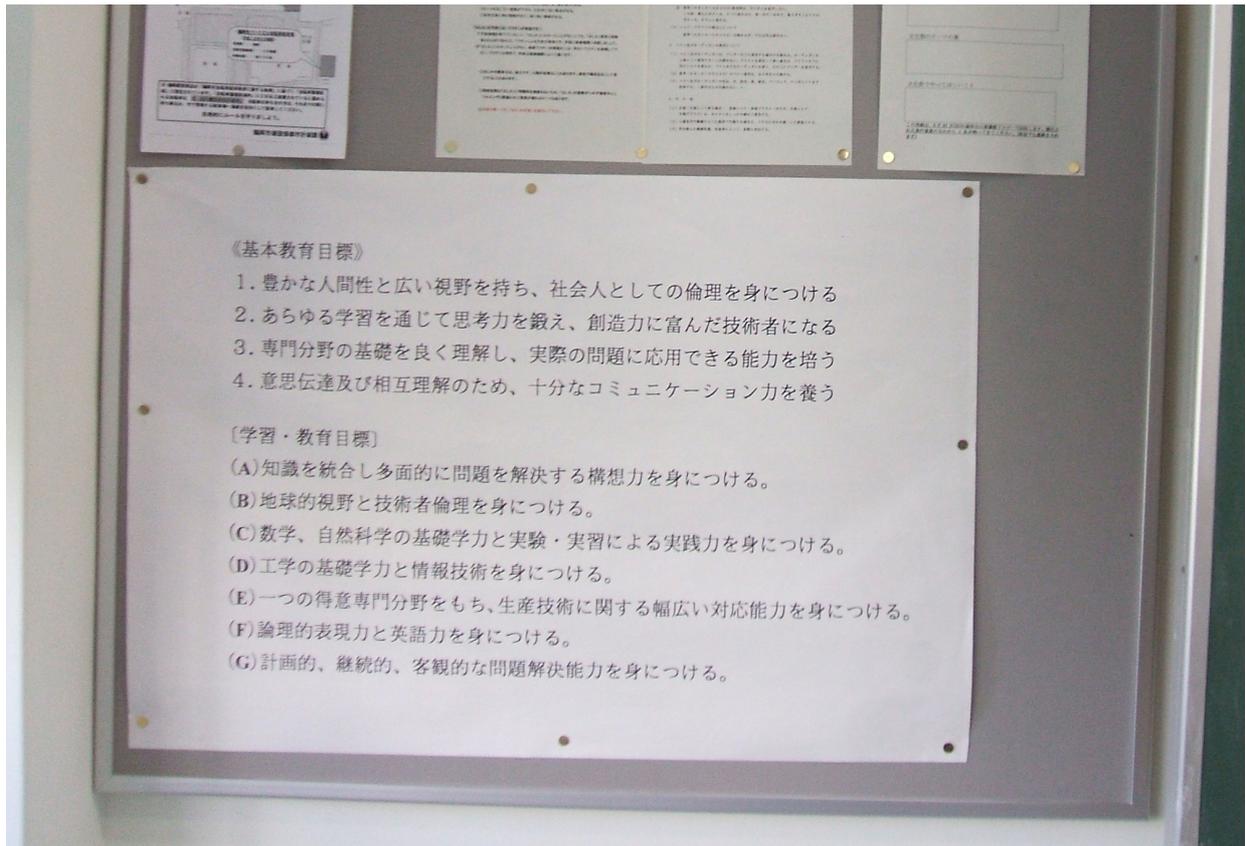
資料 1 - 2 - ① - 3

### 基本教育目標

- 1) 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける
- 2) あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造力に富んだ技術者になる
- 3) 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培う
- 4) 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う

(出典：平成19年度 シラバス, p. 3)

資料 1 - 2 - ① - 4



(出典：クラスルーム掲示)

資料 1 - 2 - ① - 5



(出典：体育館掲示)

資料 1-2-①-6

## 平成 18 年度第 13 回教員会議議事録（抜粋）

日 時 平成 19 年 3 月 13 日（火） 15:30～16:10  
 場 所 会議室  
 出席者 吉木、畑江、大和田、江口、保科、丹、大久保、柳本、安齋、小谷、竹田、瀬川、阿部（達）以外出席

## 議題

## 3. その他

- 5) 窪田認証評価対応小委員会委員から、学校の目的等についての意識調査実施について依頼があった。

---

 鶴岡高専教職員対象 学校の目的等についての意識調査

有効回答数 96

1. あなたは本校の校訓を知っていますか？
  - a) 知っている 94 (97.9%)
  - b) 知らない 2 (2.1%)
2. あなたは本校準学士課程（本科），あるいはまた専攻科課程の基本教育目標を知っていますか？
  - a) 知っている 82 (85.4%)
  - b) 知らない 14 (14.6%)
3. あなたは本校の準学士課程及び専攻科課程に共通な 7 つの「学習・教育目標」を知っていますか？
  - a) 知っている 80 (83.3%)
  - b) 知らない 16 (16.7%)
4. 本校準学士課程入学者（含編入学者），あるいはまた専攻科課程入学者に対する，受入方針を知っていますか？
  - a) 知っている 79 (82.3%)
  - b) 知らない 17 (17.7%)

（出典：平成 18 年度 第 13 回教員会議議事録）

（分析結果とその根拠理由）

校訓，目的を，教職員及び学生に配布している学生便覧，学校総覧，シラバス，ウェブページ等に明記して周知を図っている。また，校訓は体育館内にも大きく掲示して，教職員及び学生に周知を図っている。

以上のことから，本校では，目的が教職員及び学生に周知されている

**観点 1-2-②： 目的が，社会に広く公表されているか。**

（観点に係る状況）

本校では，校訓，それに基づく教育目的を，学生便覧，学校総覧及びウェブページに掲載している（資料 1-1-①-2～5 参照，資料 1-2-①-1～2 参照）。また，入試説明会，学校説明会，中学校訪問，中学生一日体験入学，企業訪問等で上記学校総覧を配布し，校訓や教育目的について説明している。企業向けには，別のパンフレットにそのような情報を記載して配布している（資料 1-2

－②－ 1～5）。

### 観点 1－2－② 資料一覧

- 資料 1－2－②－1 入試説明会実施一覧  
(出典：入試説明会資料)
- 資料 1－2－②－2 学校説明会実施一覧  
(出典：学校説明会資料)
- 資料 1－2－②－3 中学校訪問実施一覧  
(出典：中学校訪問資料)
- 資料 1－2－②－4 中学生一日体験入学資料  
(出典：中学生一日体験入学リーフレット)
- 資料 1－2－②－5 企業訪問パンフレット  
(出典：21世紀の実践的工業技術者の育成, H19. 1)

資料 1－2－②－1

### 平成19年度 入試説明会実施一覧

(対象：中学校教員)

期 日	開催地区	会 場
10月 3日(火)	新庄市	新庄市生涯学習センター「わくわく新庄」 会議室 (新庄市下金沢町15-11 TEL(0233)23-0197)
10月10日(火)	山形市	山形ビッグウイング 401会議室 (山形市平久保100 TEL(023)635-3100)
10月13日(金)	米沢市	置賜総合文化センター 201研修室 (米沢市金池3-1-14 TEL(0238)21-6111)
10月16日(月)	鶴岡市	鶴岡工業高等専門学校 3階会議室 (鶴岡市井岡字沢田104 TEL(0235)25-9024)

(出典：入試説明会資料)

資料 1 - 2 - ② - 2

## 平成18年度 学校説明会実施一覧

(対象：中学生及び保護者)

期 日	開催地区	会 場
10月14日(土)	寒河江市	寒河江市技術交流プラザ 第1研修室A, B (寒河江市中央工業団地 TEL(0237)86-1991)
10月14日(土)	山形市	山形ビッグウイング 403会議室 (山形市平久保100 TEL(023)635-3100)
10月14日(土)	最上町	最上町中央公民館 小会議室 (最上町大字向町674 TEL(0233)43-2350)
10月15日(日)	新庄市	新庄市生涯学習センター「わくわく新庄」 会議室 (新庄市下金沢町15-11 TEL(0233)23-0197)
10月15日(日)	村山市	村山市楯岡地区市民センター 研修室 (村山市楯岡二日町6-24 TEL(0237)55-7477)
10月21日(土)	米沢市	置賜総合文化センター 201研修室 (米沢市金池3-1-14 TEL(0238)21-6111)
10月22日(日)	南陽市	南陽市中央公民館「えくぼプラザ」 中会議室 (南陽市赤湯791-1 TEL(0238)50-1140)
10月22日(日)	長井市	長井市置賜生涯学習プラザ 会議室 (長井市九野本1235-1 TEL(0238)84-6900)
10月28日(土)	酒田市	酒田市総合文化センター 309号室 (酒田市中央西町2-59 TEL(0234)24-2991)
10月29日(日)	酒田市	酒田市総合文化センター 309号室 (酒田市中央西町2-59 TEL(0234)24-2991)
11月11日(土)	鶴岡市	鶴岡工業高等専門学校 3階会議室 (鶴岡市井岡字沢田104 TEL(0235)25-9024)
11月12日(日)	鶴岡市	鶴岡工業高等専門学校 3階会議室 (鶴岡市井岡字沢田104 TEL(0235)25-9024)

(出典：学校説明会資料)

資料 1 - 2 - ② - 3

## 平成 18 年度中学校訪問実施一覽

地 域	期 日	学 校 名
鶴岡・田川地区 (12 校)	9 月 20 日	①三川
	10 月 19 日	①鶴岡三 ②羽黒 ③余目
	10 月 23 日	①朝日
	10 月 24 日	①櫛引
	10 月 25 日	①温海 ②豊浦 ③鶴岡五 ④鶴岡一 ⑤鶴岡四
	10 月 27 日	①立川
酒田・飽海地区 (11 校)	10 月 18 日	①鳥海 ②平田 ③松山
	10 月 23 日	①酒田六
	10 月 25 日	①酒田二 ②酒田四 ③遊佐
	11 月 6 日	①酒田三 ②酒田五 ③八幡
	11 月 20 日	①酒田一
東南村山地区 【山形市, 上山市, 天童市, 山辺町, 中山町】 (29 校)	10 月 4 日	①山寺 ②高楯 ③中 ④作谷沢
	10 月 5～6 日	①山辺 ②山形九 ③蔵王一 ④山形十 ⑤蔵王二
	10 月 18～19 日	①山大付属②山形六 ③金井 ④山形七
	10 月 23～24 日	①山形一 ②山形四 ③山形五 ④山形二 ⑤山形三 ⑥日大山形
	〃	①天童一 ②天童四 ③天童二 ④天童三 ⑤中山
	10 月 30 日	①上山北
	11 月 7 日	①山形八 ②宮川 ③上山南 ④山元
西村山地区 【寒河江市, 河北町, 西川町, 朝日町, 大江町】, 北村山地区 【村山市, 東根市, 尾花沢市, 大石田町】 (22 校)	10 月 16 日	①陵西 ②河北 ③大江 ④朝日
	10 月 19 日	①大石田一②玉野
	11 月 7 日	①楯岡 ②東根一 ③葉山
	11 月 8 日	①東根二 ②東根三
	11 月 8～10 日	①西川 ②陵東 ③常盤 ④鶴子 ⑤大富 ⑥神町 ⑦亀井田 ⑧宮沢 ⑨福原 ⑩尾花沢
	11 月 17 日	①陵南
最上地区 【新庄市, 金山町, 最上町, 舟形町, 真室川町, 大蔵村, 鮭川村, 戸沢村】 (16 校)	10 月 10～11 日	①戸沢 ②鮭川 ③真室川 ④及位 ⑤金山
	10 月 17 日	①明倫 ②新庄 ③萩野
	10 月 19 日	①舟形 ②日新
	10 月 25～26 日	①角川 ②八向 ③最上 ④大蔵 ⑤沼台 ⑥肘折
東南置賜地区 【米沢市, 南陽市, 高畠町, 川西町】, 西置賜地区 【長井市, 小国町, 白鷹町, 飯豊町】 (30 校)	10 月 9 日	①米沢五 ②米沢一 ③米沢七 ④米沢三
	10 月 13 日	①米沢四
	10 月 23～24 日	①高畠一 ②高畠二 ③高畠三 ④高畠四 ⑤川西一 ⑥川西二
	10 月 23～24 日	①吉野 ②中川 ③沖郷 ④漆山 ⑤梨郷
	11 月 9～10 日	①赤湯 ②玉庭 ③米沢二 ④南原 ⑤米沢六
	11 月 15～16 日	①白鷹東 ②白鷹西 ③長井北 ④長井南 ⑤飯豊
	11 月 20 日	①宮内 ②叶水 ③小国 ④北部
新潟 (5 校)	10 月 23 日	①荒川 ②神納 ③岩船 ④新発田一⑤聖籠
秋田 (8 校)	11 月 14～15 日	①湯沢南 ②湯沢北 ③稲川 ④羽後 ⑤本荘北 ⑥本荘南 ⑦仁賀保 ⑧象潟

(出典：中学校訪問資料)

中学生一日体験入学資料

体験して、  
見て、納得して、  
進路を決めよう。

# 国立鶴岡工業高等専門学校

## 中学生一日体験入学募集

これからは、理系スクールライフが熱い!!

参加費用は **無料** だよ。

学寮完備  
就職抜群  
進学有利

**体験入学日** 2006 **7月29日** **土**  
AM10:00 ~ PM2:30

**参加対象者** 中学生・保護者・先生

- 体験学習&学内自由見学
- 学寮での昼食サービス等
- 無料送迎バスを運行します

行き 鶴岡駅発 AM9:10 帰 鶴岡高専発 PM3:00  
経路 鶴岡駅 八文字屋書店角 市役所 美原町 高専

**申込締切日**  
2006年  
**7月14日** **金**  
**必着**

**お問い合わせ**  
鶴岡高専 学生課教務係まで ☎0235-25-9025  
〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104 E-mail:kyomu@tsuruoka-nct.ac.jp

※この印刷物はグリーン購入法を満たす印刷用紙(古紙配合率100%、塗工量30g/m以下の塗工印刷用紙)を使用し、大豆インクで印刷しております。

(出典：中学生一日体験入学リーフレット)

## 企業訪問パンフレット



●緑豊かな田園に広がるキャンパス

# 自学自習 理魂工才



●高専ロボコン2006 東北地区大会

## JABEE認定校

### ■教育目標

鶴岡高専は、昭和38年に創設された実践的技術者の育成を目標とする高等工業教育機関です。実践的技術者に必要な能力とは、基本的に次の4点を上げることができます。

- ① 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける。
- ② あらゆる学修を通じて思考力を鍛え、創造力に富んだ技術者になる。
- ③ 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培う。
- ④ 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う。

実践的技術者の職業に必要な能力は、指導、応用、判断の三位一体の上に成立するものであり、本校の教育目的はこの三者を兼備する実践的技術者の育成であります。

21世紀の新しい時代を見すえ、創造性の育成、国際化への対応、マルチメディアを活用する教育体制の実現、柔軟に対応できる幅広い知識の教授を目指して、本校は教育と研究に邁進していますので、本校卒業生は工業社会からの要請に十分応えうる能力をもつと確信しております。

(出典：21世紀の実践的工業技術者の育成，H19.1)

### (分析結果とその根拠理由)

本校では、校訓、それに基づく教育目的を、ウェブページに掲載して社会に公表している。また、入試説明会、学校説明会、中学校訪問、中学生一日体験入学、企業訪問等において学校総覧等を配布し説明することによって、それらの周知を図っている。

以上のことから、本校では、教育目的を広く社会に公表している。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

### (優れた点)

校訓及びこれを踏まえた教育目的を明記した学生便覧，シラバスを教職員及び学生に配布しており，またウェブページに掲載して周知を図っている。また，校外においては，入試説明会，学校説明会，中学校訪問，一日体験入学，企業訪問等で学校総覧等を配布することによって，校訓及び教育目的を広く社会に公表している。

(改善を要する点)

特になし

### (3) 基準 1 の自己評価の概要

本校は創立以来，「自学自習」，「理魂工才」の校訓を掲げ，これに基づいて基本教育目標及び学習・教育目標を明確に定めている。これらの教育目的は，学校教育法第 70 条の 2 に定められた目的からはずれるものではない。

本校では，学生便覧，学校総覧，シラバス，ウェブページ等を通じて，教職員及び学生に目的の周知を図っている。さらに，学生に対しては，入学時や始業時に，目的についての説明が行われ，教職員に対しては，教員会議や新任教員研修の際に目的が説明されている。本校の目的の周知状況は，教職員へのアンケートの結果から，良好であると判断される。

入試説明会，学校説明会，中学校訪問，中学生一日体験入学，企業訪問等で学校総覧を配布し，また，ウェブページにも掲載して，校訓，目的を広く社会に公表している。